

自動車技術会デザイン部門委員会公開講座のご案内

自動車技術会デザイン部門委員会

委員長 高嶋晋治

平素は格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、12月19日に、デザイン部門委員会企画の公開講座を開催いたします。

鈴木自動車工業株式会社（現スズキ株式会社）でワゴンRプロジェクトリーダーを経験された後、個人事務所を経て、富士重工業株式会社（現株式会社SUBARU）商品企画本部デザイン部部長を経験され、2015年10月から大学法人首都大学東京システムデザイン学部インダストリアルアートコーストランスポートデザイン研究室に現在籍されている難波治准教授をお招きし、経営危機に瀕していたスバルのデザイン再生と企業力アップを命題とされた中で、ブランドの確立と自動車業界最高の営業利益率へと回復させた戦略的デザイン手法とデザインの力についてお話ししていただく。

師走のお忙しい時分とは存じますが、是非、足をお運びいただけますよう、ご案内申し上げます。

開催日時	: 2017年12月19日（火） 13:30～15:00
場 所	: 本田技術研究所 四輪R&Dセンター デザイン室 東京サテライト 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目60番2号
講演テーマ	: 「経営資源としてのデザイン」
定 員	: 70名（先着順、定員になりしたい締め切）
聴講料	: 会員資格問わず無料

略歴 難波治准教授 Osamu Namba



1973年3月筑波大学芸術専門学群生産デザイン専攻卒業後、同年4月鈴木自動車工業株式会社（現スズキ株式会社）入社。1986年カリッツェリアミケロッティにてランニングプロトタイプ車の開発、1990年SEAT中央技術センターでVW世界戦略車としての小型車開発プロジェクトにスズキ側代表デザイナーとして参画。ワゴンRプロジェクトリーダーを経て1994年1月独立。個人事務所を設立し国内外の自動車メーカーとのトレンド提案・デザイン開発・デザインコンサルタント業務を開始。2008年6月に富士重工業株式会社（現株式会社SUBARU）商品企画本部デザイン部部長に就任。2013年同CED（Chief Executive Designer）に就任。2015年10月より公立大学法人首都大学東京システムデザイン学部インダストリアルアートコーストランスポートデザイン研究室准教授。

以上